

6 シーリング

6-1 推奨シーリング

●推奨シーリング

メーカー	商品名	対応プライマー
サンスター技研株式会社	ペンギンシールMS2500(NBタイプ)	表-1 参照
シーカ・ハマタイト株式会社	SC-MS2NB/SUPER II	No.18
コニシ株式会社	ボンドMSシール	ボンドシールプライマー #38
セメダイン株式会社	POSシールタイプII	MP-2000

表-1

使用部位	推奨プライマー
パネル間目地・サッシ取り合いなど	SS-2
セメント系材料との取り合いなど	UM-2

■シーリング工事の注意点

詳細はシーリングメーカーにお問い合わせください。

シーリング施工中のパネルの熱伸縮で、シーリングにシワや剥離が発生する場合があります。
パネル表面の温度変化が少ない天候や時間帯にシーリング施工してください。

(注) プライマーを塗布する前に、シーリングの接着力を高めるためにシーリング施工面の目荒らし（バフ掛け）を行ってください。

5

発注と納期

6

シーリング

7 補修・メンテナンスについて

7-1 キズの補修

- ・範囲の狭い軽微なすりキズで、鋼板の変形がないものは純正のタッチアップペイントで補修してください。
- ・降雨及び降雪がある際は補修を避けてください。
- ・補修塗装を行う際は、水または中性洗剤（1～2%水溶液）で、表面の汚れや油分などを除去し、十分な水洗いを行い、乾いた布で水分をよく拭き取ってから行ってください。
- ・シーリングの除去・再施工は専門の業者に依頼してください。
- ・商品表面のキズの補修には、必ず純正のタッチアップペイントを用い、製品安全データシート（SDS）に従って正しく使用してください。
- ・事前に商品の端材などで試し塗りをし、色調の確認を行ってください。
- ・広範囲にわたったすりキズや、鋼板が変形してしまった損傷の場合は、パネル本体の交換を実施してください。やむを得ず広範囲にわたる補修塗装を行う際は、専門の塗装業者に依頼してください。
- ・現場塗装用の塗料は、現場で手配願います。

【注意 !!】

- ・タッチアップペイントは、使用前によく攪拌してから使用してください。カタカタという音がしてから30秒以上振り、よく攪拌してください。
- ・タッチアップペイントは常乾タイプの塗料です。商品とは塗料タイプが異なりますので、色や艶などに多少の差異が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・表面鋼板をタッチアップペイントで補修する場合は目荒らしが必要です。補修するすりキズ部分に、ナイロン不織布を使用して目荒らしをしてください。目荒らしを行わない場合、タッチアップペイントと表面鋼板の塗膜に密着性が得られませんので注意してください。
- ・補修した部分に水が関与すると白化や、艶の低下の原因になりますので作業の際は以下の注意事項を確認してください。
 - ① 塗装後、降雨、降雪、結露が予想される場合や高湿度時の塗装は避けてください。
 - ② 気温が低くなると乾燥が極端にしにくくなります。夕方まで表面が乾くように作業時間を調整してください。急ぎの作業の際は、ドライヤーなどで補修部分を完全に乾燥させてください。

7-2 汚れの除去

- ・パネル本体表面に汚れが付着したときは、以下の手順でクリーニングしてください。
 - ① 柔らかい布などでから拭きしてください。
↓（落ちないとき）
 - ② 水または温水（ぬるま湯程度）で洗浄してください。
↓（落ちないとき）
 - ③ 中性洗剤（1～2%水溶液）で洗浄してください。
↓（落ちないとき）
 - ④ エタノールで洗浄してください。
↓（落ちないとき）
 - ⑤ パネル本体の交換を実施してください。

（注）中性洗剤やエタノールを使用した後は十分な水洗いを行ってください。

7-3 外壁を美しく保つために

- ・大気中には、パネル表面基材の腐食の原因となる様々な要因が含まれています。酸性度の高い水分との接触や、付着水分の蒸発による酸性成分の濃縮など、腐食の原因物質と表面基材の接触により表面塗膜の耐久性の低下を招き、さびの発生に至る場合があります。このような現象の発生を防ぐために定期的なお手入れを実施してください。
- ・壁の汚れの状況に応じて、パネル表面を洗浄してください。特に、海岸地帯や工業地帯では洗浄回数を増やしてください。
- ・軒下など、雨水で塵汚れなどが洗われない部分は、塵などが原因で腐食が発生する場合がありますので、入念な洗浄をお勧めします。
- ・表面塗色については、適宜点検してください。変色が著しく、白亜化現象が現れた時には、再塗装を実施してください。

【注意 !!】

- ・強くこすったり、硬いブラシ、研磨性のあるスポンジなどを使用すると塗膜表面にキズが付き腐食を招くおそれがあります。
- ・クレンザーなど研磨剤入りの洗剤や、酸性やアルカリ性の洗剤は、塗膜を傷め変色・褪色を招くおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・シンナーなどは塗膜を破壊するおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・中性洗剤やエタノールを使用した後は、十分な水洗いを行い、薬剤を洗い流してください。
- ・洗浄後は、乾いた布で水分をよく拭き取ってください。
- ・シーリングの除去・再施工は専門の施工業者に依頼してください。
- ・高圧洗浄機は、パネルの変形、漏水などの原因となりますので使用しないでください。

7-4 その他

- ・点検・補修・洗浄などの際は、パネル本体表面にキズが付かないよう十分に注意してください。特にハシゴなどをパネル本体表面に直接立て掛けると、キズや変形の原因となります。必ず当て板などで保護してください。
- ・洗剤を使用する際の洗浄や補修塗装の際は、周辺の生物に影響がないよう、十分に注意してください。特に、池の魚類には注意が必要です。
- ・日射による熱の影響で、朝・夕の温度変化時に、表面鋼板の伸縮により、かん合部などからまれに音が発生する場合があります。



アイジー工業株式会社

本 社	〒999-3716	山形県東根市蟹沢上縄目1816-12	TEL. 0237-43-1810	FAX. 0237-41-1810
東京営業所	〒101-0065	東京都千代田区西神田3-1-6 日本弘道会ビル6F	TEL. 03-3556-0341	FAX. 03-3262-3180
札幌営業所	〒003-0026	北海道札幌市白石区本通19丁目南2-7 食糧ビル5F	TEL. 011-863-0303	FAX. 011-860-2084
盛岡営業所	〒020-0022	岩手県盛岡市大通3-3-10 七十七日生盛岡ビル7F	TEL. 019-605-8050	FAX. 019-605-8051
仙台営業所	〒983-0852	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-12-12 L.Biz仙台5F	TEL. 022-292-5405	FAX. 022-292-5406
北関東営業所	〒330-0802	埼玉県さいたま市大宮区宮町4-150-1 カネゲンビル6F	TEL. 048-658-1600	FAX. 048-658-1602
新潟営業所	〒950-0912	新潟県新潟市中央区南笹口1-1-54 日生南笹口ビル6F	TEL. 025-240-6718	FAX. 025-240-6719
富山営業所	〒930-0004	富山県富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル3F	TEL. 076-443-8621	FAX. 076-443-8622
名古屋営業所	〒460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内1-8-24 綿常第5ビル4F	TEL. 052-218-7885	FAX. 052-218-7886
大阪営業所	〒564-0051	大阪府吹田市豊津町9-1 ビーロット江坂ビル11F	TEL. 06-6310-9076	FAX. 06-6310-9077
福岡営業所	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前3-30-23 博多管絃ビル2F	TEL. 092-474-5564	FAX. 092-474-5574

この設計資料に掲載の商品は専門施工を必要とします。施工は専門施工店にご依頼ください。
商品改良などにより、予告なく仕様の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

www.igkogyo.co.jp

